

行政報告

(平成15年9月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第3回定例町議会にご出席いただき、誠にご苦労さまです。

この機会に、去る6月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告)

はじめに、天皇皇后両陛下が7月1日から5日まで行幸啓で北海道をご訪問されました。4日には富良野市から旭川に向かわれる際に上富良野町を通過されました。当日は晴天に恵まれ、国道沿いの町内6箇所に幼児から高齢者までの町民約3,500人が奉送迎しました。

次に、友好提携都市カムローズ市の提携後2代目の市長として86年から1期3年間務められたサイワク氏が8月6日にご逝去されました。

サイワク氏が市長時代には、町の第1回青少年海外派遣事業で26人の受入れをはじめ、毎年上富良野高校生延べ27人の訪問も受けられ、昭和63年から翌年までの十勝岳噴火に際してはお見舞いをいただき、平成元年には上富良野町を訪問されるなど両市町間の交流事業の基礎をつくりました。町民ともどもご冥福をお祈りいたします。

また、友好提携以来お世話になっているカムローズ市在住のミチコ・ラスムセンさんのお母様が8月9日に富山市でご逝去され、葬儀に高橋教育長を派遣し、ご冥福をお祈りいたしました。

次に、8月17日に執行されました任期満了による上富良野町議会議員選挙については、議員定数が20人から18人へ2人減員の選挙となりました。

告示前には前回同様に青年女性層で構成された実行委員会の立候補予定者公開フォーラムが開催され、また町議会議員選挙としては、はじめての選挙公報が発行されました。

少数激戦の選挙でしたが、投票率については、広報誌、防災無線放送、車両広報、選挙公報、街頭啓発など啓発の努力も及ばず、前回84.47%から1.74%減の82.73%という結果になったところであります。

(保健福祉課行政報告)

次に敬老事業関係ですが、高齢人口の増加に伴い、満75歳以上の方に一律支給していました敬老年金を今年から節目の長寿年齢を迎えた方に対し敬老祝い金を支給するよう改めたところであります。

対象となる方々は、喜寿を迎えた方102名、米寿の方25名、白寿の方1名、満100歳以上の方5名で、合わせて133名おられました。

また、昨年まで町主催で行っておりました敬老会につきましても、式典に参加される方が非常に少ないとから身近な地域での開催により、多くの方が参加できるよう、町の助成策を講じて住民会主催による地区開催方式へ移行を図ったところであります。

地区敬老会は各住民会長のご理解とご協力により今月、12地区で開催され、10月以降も逐次開催の予定にあると伺っております。

高齢社会を迎えた今日、地域社会で支えあう地域福祉の考え方があ

きくなってくるものと思います。この敬老会地区開催を契機に、今後地域福祉推進の機運が一層盛り上ることが大いに期待しているところであります。

(企画調整課行政報告)

次に自衛隊関係ですが、6月22日には北千歳駐屯地（第1特科団）・北海道補給処島松駐屯地・千歳基地開庁記念行事に、8月29日から30日には静岡県富士演習場で実施されました富士総合火力演習訓練の見学へ、それぞれ出席してまいりました。

9月17日、陸上自衛隊第2師団存置・増強等に関する要望運動を自衛隊協力会道北地区連合会の役員とともに防衛庁・衆議院・参議院に行ってまいりました。

さらに平成16年度防衛施設周辺整備事業・基地交付金・基地関係の要望関係ですが、7月14日から札幌防衛施設局・北海道庁・総務省・財務省・防衛庁・施設庁に全道基地協議会の役員として、防衛予算の確保について、要望運動を行っておりました。

防衛施設周辺整備事業の平成14年度会計実地検査が、7月9日実施され、1事案の書面及び現地検査が行われ適正に処理されていることで、終了致しました。

次に、広域行政の動向についてであります。富良野地区広域市町村圏振興協議会の委員会(首長会議)において、平成15年2月20日に合意を得て、いた「広域連合」の発足に向けての検討を広域圏幹事会及び作業部会で調査研究を進めてきていたところであります。

作業部会、幹事会で調査研究の成果として作成した「広域連合発足に関する調査研究報告書」を助役部会の審議を経て、9月4日に開催された委員会に報告書が提出され、この報告書に基づき5市町村の首長により今後の進め方等について協議をいたしました。

結果につきましては、広域連合設立準備委員会の設置時期について平成16年4月1日とするよう、私の意見を申し上げましたが、11月には国の地方制度調査会の最終報告がなされること、さらには南富良野町と占冠村が合併の検討を進めたことにより合併と連合の同時での議論は困難との意見などから、国の動向などを見据えた上で11月に再協議するとの結論に達したところであります。

また、市町村合併については、現在、他の市町村との合併協議を行う気運には至っておりませんが、今後においても、合併に関する情報については住民の皆さんに積極的に提供してまいりたいと考えております。

(町民生活行政報告)

次に、住民基本台帳ネットワークシステムの2次稼動についてであります。が、国のe-JAPAN(イージャパン)重点計画に基づく電子政府、電子自治体構築の重要な基盤としてその整備が平成11年の法律制定以降進めら

れて参りました。

平成 14 年 8 月には第 1 次稼動として、町民への住民票コードの通知やネット上での法律に基づく利用が開始されました。

本年 8 月 25 日からは第 2 次稼動として、住民票の写しの広域交付や住民基本台帳カードの発行等の事務を行っております。

現在までの発行状況につきましては、広域交付 2 件、カード発行 15 件であります。

また、住民基本台帳カードの写真掲載のものにつきましては、本人確認情報として公的に認められるものであり、金融機関等あらゆる機会に本人を証明するものとして利用可能でありますことから、今後、発行につきましても拡大するものと予想しているところであります。

(社会教育課行政報告)

次に 7 月 31 日から 8 月 8 日までの 9 日間、カナダ国へ本町の高校生 12 名、中学生 10 名、引率者 5 名の総勢 27 名を、第 4 回青少年国際交流派遣事業として派遣しました。

カナダ各地での視察研修はもとより、本町と友好提携をしておりますカムローズ市での歓迎レセプションでは、市民との交流を深めるとともに、親善大使としてもその重責を立派に果たしていただきました。

また、中高校生はホームステイ体験として、各ホストファミリーからそれぞれに温かい歓迎を受けて、カナダの文化、生活習慣にも触れ、また本場の英語も体験できるなど交流を深めることができました。

この派遣事業が中高校生にとっては大変貴重で有意義なものとして、今後の将来に役立つことを期待いたします。

次に、本年 4 月 27 日にオープンしたパークゴルフ場の利用状況ですが、連日町民の皆さんをはじめ、近隣市町村からも愛好者が訪れ、8 月末までの 126 日間で、30,157 名、1 日平均 239 名の方がプレーを楽しみ、ご利用いただいているところであります。

（商工観光まちづくり課行政報告）

次に、開設 3 年目を迎えた日の出公園オートキャンプ場の利用状況は、本年 4 月 25 日開場以来 8 月末までの利用者は、昨年より 1,036 人 12.4 パーセント増の 9,414 人の利用となっております。

地域別利用者の内訳では道外利用者 51.75%、道内利用者 47.69% の内、町民の利用は 3.34% の利用となっております。また外国人の利用者も 71 名となっております。

7 月 19 日と 20 日の両日にわたり開催した町の四季彩イベントのメインであります、第 25 回かみふらのラベンダーまつりであります、春先の暖かい日に恵まれてラベンダーの生育も早まり、6 月下旬には花が咲き始め、7 月も雨の日が少なく平年より早く開花しました。お祭り当日には花も見頃となり、天候にも恵まれまして、昨年を若干上回る約 3 万 3 千人の町内外の来園者をお迎えし、盛会の内に終了することができました。

また、山頂までのシャトルバスの利用者は、7 月から 25 日間で約 2 万人の利用となり、好評のなか、無事運行を終了しました。

また、秀峰十勝岳の安全と五穀豊穣、地域振興を目的に開催を予定していました、第21回かみふらの十勝岳火まつりは、あいにく台風10号の影響を受け、残念でありましたが、本年の開催を中止することになりました。

このイベントの開催に向け、早くから行灯の制作を進めてこられた関係各団体の皆様方のご苦労に対し厚くお礼を申し上げますと共に来年に向けて町内観光関係諸団体、関係者との連携を図り、より一層、地域振興につながるお祭りとなるよう努めてまいります。

（農業振興課行政報告）

次に、農業関係ですが、今年の農作物の生育状況については定植後の好天に恵まれ、生育も順調に推移してまいりましたが、7月中旬以降の低温日照不足により、水稻では影響を受けているものの、他畠作物については比較的影響は少なく、また台風10号による被害もほとんど受けることなく、最小限のものとなっております。

特に水稻は、7月末まで平年並に推移してまいりましたが、7月中旬以降の低温日照不足の影響を受け、平年に比べ不稔もみの発生が多く見受けられ心配をしております。

小麦の収穫も終了し、穗発芽などの被害も受けず、品質も良く、高収量が期待されます。

ほかの畠作物の馬鈴薯、ビート、豆類等につきましては、平年並で生育をしております。

今後におきましては、関係機関と連携を密にし、営農技術対策に万全を期するとともに、収穫期までの好天を期待し、収量増加を願うところであ

ります。

(総務課行政報告)

最後に建設工事の発注状況ですが、6月定例議会に報告以降で入札執行した建設工事は、9月4日現在で39件、事業費総額6億7,998万円となっており、本年度累計では、58件、事業費総額19億7,146万9,500円となっております。

なお、お手元に「平成15年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。

以上をもちまして、行政報告といたします。